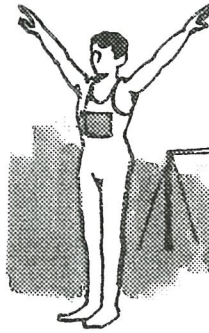


大木正さんから

東陽小へ

大木正さん(宮川八、〇四三番地)から東陽小学校へ、体操用マットの寄贈がありました。大切に使用させていただきます。



ありがとうございます。

八石田遺跡で文化財教室



町が計画している篠本の総合運動公園建設事業に先きだち行われていた文化財調査が八月末に終了しました。

公民館では、九月五日と八日の両日に町内小学校五・六年生を対象とした文化財教室を開催しました。

児童は、調査の方法等の説明を受けた後、発掘された住居跡や溝に入ったり、土器にさわって昔の人々の生活の一端に触れていました。

シリーズ ⑤4

我が家の家庭教育

増島トヨ子

親の背を見て育つ

この原稿は、「我が家の家庭教育」ということですが、私の家で家庭教育というほどの教育をしているかどうか自信がありません。そんな私がこの原稿を書く資格が有るので

しようか。

私の家族は、小学四年の長女、一年の長男、二歳の二男と主人の父と母、主人と私の七人家族で、稲作中心の農業をしています。農業をしているということ、子供達に目を向ける時間が多く、家庭教育というものが十分に出来るかのように思えますが、反対に手を掛け過ぎてしまったように思います。そこで、自分の事は自分で、と思い洗濯物を自分のタンスに入れる、靴は自分で洗う、などさせてい

ます。が、なかなか長続きせず、洗濯物の山、汚れた靴



の山になってしまいます。そんな時は、つい手を出したく

関東選抜軟式野球千葉県大会



光フレンズ準優勝

関東選抜軟式野球千葉県大会(C級)で、光フレンズチームが準優勝をしました。

フレンズチームは匝瑳郡市大会、東総大会を勝ち抜き県大会に出場、決勝戦まで進出しましたが、ソニー木更津チームに惜敗したものです。

大木博之監督は「今年の四月に光町在住の同級生と野球好きの同年代でチームを結成しました。今後は関東大会目指して練習していくつもりです。」と話していました。

なりませんが、そこはグツと我慢、親と子の根競べです。

そんな或日、私が食事の後片付けをしていたところ、長女が「私も手伝う」と言うのです。やらせてみれば割と上手に出来るのです。「みどり」が手伝ってくれるから早く終りそう」と誉めてやりました。誉められて嬉しかったのか、ガスコンロの回りを拭き始めたのです。「そこを拭くのよく気が付いたね。」と私が言ったところ、長女は「お母さんがいつも拭いているから」と

答えたのです。私は「ハッ」としました。子供は良く見ているのです。たまたま良い事だったので、反対に悪い事も見ているはず。子供は、親の背を見て育つ」と聞いたことがあります、そのとおりだと思います。子供に教えるつもりが、教えられちゃったのです。

言葉で口喧しく言うだけでなく、自分の行動にも十分に気をつけなければならぬと感じさせられました。